

福島県における放射能汚染 農地除染と営農再開を考える

(風評被害に対する取り組み)

1/23

15時より

鹿児島大学

農・獣医共通棟101号教室

参加無料

飯舘村をはじめ、東日本大震災に伴う原子力発電所の事故から3年が経とうとしております。震災により放射能で汚染された地域は農地除染を含めて、農業再生への取り組みの加速が期待されています。

農業再生のためには、放射性物質の科学的な理解に基づく、農地除染技術や放射性物質の作物への吸収抑制技術の開発と実践が必要です。

これらの技術開発・実証に向けて、被災地では、福島県、国の研究機関と連携協力して参りました。

今回、これらの成果を直接お伝えすることにより、被災地の農業復興に向けて、皆様とともに考えさせていただく場となれば幸いです。

..... プログラム

15時00分 開会の挨拶

鹿児島大学農学部 富永茂人

15時10分 放射性物質拡散からこれまでの状況

と、福島県の農業再生に向けて

飯舘村復興対策課 万福裕造

15時30分 鈾物中のセシウムとセシウムの結合

状態

国際農林水産業研究センター 八田珠郎

15時50分 研究サイトからの支援及び農業用ため池を利用したセシウム回収

産業技術総合研究所

鈴木正哉

16時10分 ディスカッション(質疑)

16時20分 総評

鹿児島大学農学部教授 坂上潤一

講演終了後に実証試験米をお配りします。

【配布は数に限りがありますのでご了承ください。】

主催 鹿児島大学農学部、福島県飯舘村

後援 物質・材料研究機構、国際農林水産業研究センター、産業技術総合研究所